

将来に向けての生き方を考えるための番組活用

埼玉県所沢市立清進小学校 教諭 佐藤 恭子

小学校6年 道徳 カラフル！

番組の特徴

視聴する小学生と同じ世代の世界の子どもたちが主人公のドキュメンタリー番組。日々の喜びや悲しみ、何かに挑戦する意欲や悩み、葛藤が描かれている。異なった国や地域の子どもの暮らし、生き方、考え方を知り、共感する事が出来る番組である。

研究の概要

多文化共生社会を生き抜いていく子どもたちが、自己の生き方や考え方、価値観を広げることをねらいとし、複数の番組を視聴した。ドキュメンタリー番組では登場人物の表情、声、しぐさなどを通して、心情や感情をダイレクトに感じ取る事ができる。その特性を生かして子どもたちが多様な意見や考えを出し合い、学び合うことで自分の夢に向かって自分の生き方を考えることが出来た。

授業デザイン（1 単位授業時間）

主題名：自分の将来をみつめよう「リーダーについて考えよう」4-(3)

ねらい：身近な集団の中で自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。

導入 リーダーとしてのこれまでの体験を発表する。

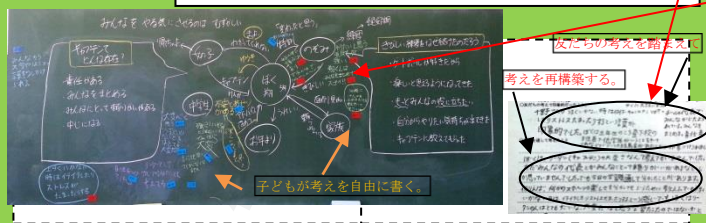
課題把握 学習課題「リーダーについて考えよう」

番組視聴 第17回 みんなをやる気にさせるのはむずかしい

自力解決 番組を見て印象的だった場面をメモし、発表する。子どもたちからでた意見をもとに、登場人物の心情や役割について考える。

協働解決 役割や心情について考える際に、班で話し合い活動を行う。また、黒板に自分が共感した事や考えなど、本音を自由に書かせる。

まとめ 板書をもとにして、本時で学習したことを各自がまとめ、発表する。



番組や関連動画クリップの活用意図

主人公に共感し生き方を考える

視聴している子どもと同じ世代の主人公なので、その生き方に憧れをもったり、自分の生き方に重ね合わせたりすることが出来やすく共感しやすい。

多様な生き方を知る

日本のみならず、世界の子どもたちが主人公である。多様な生き方や価値観を知ることが、将来多文化共生社会を生き抜いていく子どもたちが自らの可能性を一層広げていくことにつながっていく。

授業デザインにかかわる教師の工夫

自分の変容に気付くワークシート

番組視聴を通して自分の考え方の変容に気付かせるワークシートを作成し活用した。友だちの考えで印象深かったことを書く項目を設けた。さらに、学習を通して考えたことをまとめる項目を設け、友だちとの学び合いから自分の考えをまとめられるように工夫した。

子どもが参加する板書

子どもが自分の考えを自由に書くことが出来る板書にした。誰もが思ったことや本音を発表できる場を設定した。また、板書上に様々な考えを提示し、最後のまとめで自分の考えを再構築することが出来るようにした。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価から

- 今後ぼくがリーダーになるときは、この話を思い出したい。
- 一人でも周りの友だちと仲良くしていくことが、やがて周りの人たちが協力してくれることになる、と思った。
- 夢をかなえるためには周りの人の支えがあるから、周りの人の存在を大切にしていきたい。

同僚の評価

- 主人公の悩みに共感する事が、自分だけが悩んでいるのではない、という子ども自身への安心感につながっていった。
- 主人公が前向きに頑張っている姿を見る事で、自分もがんばってみたい、という気持ちが出てきたように感じられた。

実践を終えて＜行動宣言＞

番組を興味深く真剣に視聴した子どもにとって、主人公は共感でき、憧れとなる存在であった。ほとんどの子どもが主人公と自分を重ね合わせ、これからの自分の生き方を考えることが出来た。また、友だちの考えから刺激を受け学んでいる子どももいた。また、黒板の子どもの考えから、番組には子どもたちの多様な考えを引き出す良さがあることも実感した。一人ひとりの考えを大切にしてください。これからも番組を視聴していきたい。